

「ゲージーフアミリー（宮司家族）」

増山雄三

神戸市営地下鉄の「長田駅」から、五百米北にある「長田神社」は、平成七年（一九九五年）の阪神・淡路大震災で、本殿こそ倒壊を免れたものの、大きな被害を受けた参集殿は、壊滅的被害を受けた長田区の人達が、避難所として活用した所だ。

この神社は、社格は官幣中社で、生田神社と同じく、神功皇后以来の歴史を持つ名社とされ、生田神社や湊川神社それに廣田神社とともに、神戸を代表する神社の一つである。そして、日本書紀によってそのルーツを辿ると、神功皇后元年（二〇一年）二月、神功皇后が三韓征伐後、新羅から難波に帰還する途中、武庫の水門で船が進まなくなり占った所、事大主の神より「吾を長田国に祀れ」と神託を受け、それで創祀されたという。

この由緒から、太古から長田神社と呼ばれてきたが、延喜式神名帳では名神大社ともいわれ、社に奉祀する神戸（かんべ）四十一戸によって護持され、現在まで続く「神戸（こうべ）」の地名は、この神戸職に由来する。ところで、神社手前の角に「萬福笑来」と書かれた宝船があり、その上には愛らしいフクロウが五羽乗っているが、これは、地域のシンボルキャラクターで、初夏になると神社にやって来る、アオバスクというフクロウの仲間をモチーフした、「グーゾーフアミリー（宮司家族）」だという。

その家族の内訳は、まず、開運招福を担う《長社グーゾー》の名を持つ宮司である私、そして、商売繁盛を願い「神」由来の名を持つ《長社シン》という父親で、また、母親は「貴巫女」で《長社キミコ》の名を持ち、こちらは、家内安全を担当している。

そして、「巫女」の姉は《長社ミコ》といい、恋愛成就を願い、小宮司の弟は《長社

コグージー》とあって、こちらは無病発育を
担当し、先ごろ実施された、神社のハイハイ
選手権で優勝している。
そして、サンドール北広場には、地域のシ
ンボルとなる「萬福グージーモニュメント」
のお披露目除幕式が、井戸知事や長田区長ほ
か、多数の来賓と地域活性化協議会のメンバ
ーが集まって、晴天のもと、沢山の参列者に
見守られて挙行された。
さらに、このモニュメント製作者である岩
倉氏も、はるばる富山からやってきて、式典
の最後に鏡開きに使用した、富山県井波町の
銘酒「萬福笑来」と、この地酒を使って作ら
れた、洋菓子店の逸品である、「神戸・長田
萬福酒菓」が振舞われた。
また、長田神社前の商店街では、室町時代
から続く、昔の暦で新年の立春を祝い、神様
の使いとして、好い鬼がやってきて、「おは
らい」の行事である「追儀式」が実施され、
お祓いの踊りを舞って喜び合う。

そして、この鬼は神の代りとして、松明の
炎で災いを焼払い、太刀の刃で不吉を切り捨
てるのだが、追儀式の当日は、長田神社構内
で、鬼が撞いた厄除餅と五色の具が入った、
「厄除うどん」が八百円で食べられる。

令和三年三月